

□ 要請番号 (JL05422B18)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G157 日本語教育		個別	新規	2年	・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ウトカル大学

3) 任地 (オディシャ州ブバネシュワル) JICA事務所の所在地 (デリー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で 約 3.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

インド東部オディシャ州の州都ブバネシュワルにある州立大学。1943年創立で州内最古、且つインド全国で17番目に古く、歴史のある大学。27学部あり、在籍する約4,000人の学生は、9割以上が地元オディシャ州出身で、地元における信頼は厚い。現在、メインキャンパスより60キロほど離れた街に新たなキャンパスを建設中であり、地域に根差した教育を提供し続けている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同校は、2015年、主に人類学部の学生を対象として日本語講座を開講した。現在、3回/週、2.5時間/回の日本語コース対面授業が再開され、22名の生徒が学習しており、将来的には日本研究学部の創設をめざしている。しかしながら、現在運営にあたっている2名の教師は日本語を専門的に学習したことがないため、今後の当講座の発展に向けて、講座運営やカリキュラムデザイン、日本語指導者の育成への支援が出来るJICA海外協力隊が要請された。日本語指導に加え、日本社会・文化の理解を深めるための学内外での活動・イベント等を企画することも期待されている。現時点では受け入れ生徒数を20名程度に制限しているが、隊員赴任後には受け入れ人数を拡大予定。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 『みんなの日本語 初級』を用いた授業を行う。
- インド人日本語教師の日本語運用能力・指導能力向上のための支援をする(補助教材の拡充等)。
- 日本社会・文化理解促進のためのイベント等を学内外にて企画・開催する。

※現在、指導にあたっている教師は、専門的に日本語を学習したことがなく、試行錯誤で講座を運営している。JICA海外協力隊には、当講座の運営に関し、中心となって進めていくことが期待されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教科書:『みんなの日本語 初級』

4) 配属先同僚及び活動対象者

【学生】人類学部の学生男女約20名
【インド人日本語教師】※日本語を専門的に学習したことのある教師はいません。
40歳代男性(文化人類学部長)、日本語指導経験4年(大学院修士課程への日本留学経験1年有)
20歳代女性(文化人類学博士課程在籍学生)、経験1年未満

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：(日本語教育に関する資格)

[学歴]：(大卒) 備考：当国の教員採用事情による

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：配属先の要望

[参考情報]：

- ・シラバス、カリキュラムデザインの経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(15～38℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居は配属先が提供する学内のゲストハウスを予定。生活使用言語はヒンディー語、オリヤ語になります。